

# 第20回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和6年3月11日(木)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

## 【出席者】

委員：長江委員、鈴木委員、吉田委員、近藤委員、稲葉委員、内記委員、水野(豊)委員、加藤(裕)委員、前田委員、加知委員、加藤(智)委員、杉村委員、東山委員

福祉部部長：加藤

環境文化部長：伊藤

子ども支援課：長谷川、富田、宮嶋

文化スポーツ課：柳生、三品

事務局：教育長、副教育長

教育推進課：丹羽、南谷、加納(裕)、福岡

教育総務課：市川、高田、瀬瀬

教育研究所：久野

教育相談室：古川

## 【欠席者】

委員：森本委員

教育総務課：中島

(要点筆記)

## 開会

会長

・第20回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。

## 次第1 教育長挨拶

教育長

・本日はお忙しい中第20回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。笠原に直接関係ない話を一つだけさせていただきます。先日市内の中学校の卒業式がありました。私は陶都中学校の卒業式に参加してまいりました。先生方は毎年のことなので、卒業式は慣れていらっしゃると思うのですが、私は中学校の卒業式は6年ぶりの出席であり慣れていませんでした。卒業式の中で生徒が先生に向かって色々な感謝の言葉を述べる場面があったのですが、中には泣き崩れてしまう先生もあり、見ているこちらにも涙が止まらないようになってしまったというような経験をさせていただきました。やはり、学校というのは当たり前なのですが、子供たちが成長していく上で本当に大切な時間であり、それを支える先生方を中心としたスタッフの方々も、体当たりでそれに向かって一生懸命やってきた、そういったものの一つの結晶が、あのような卒業式の場面で出るのだということを実感させていただきました。今後建設される笠原小中学校についても、そういった卒業生たちを送り出

せるような、そのような中身のあるものをこの会で研究していけたらな  
と決意を新たにしたところです。本日は市役所の職員が大勢参加してい  
ると思うのですが、要は様々な話が具体化してきているということのあ  
らわれです。前回幼保のこども園化についてなかなか情報が正確にまだ  
伝わってないという御指摘もいただきました。3月号の広報でも少し特  
集させていただいたのですが、本日実際に担当している部署から話をさ  
せていただこうと思っています。それ以外の議題や資料を見ていただくと  
分かるのですが、一つ一つのことが決まりつつある、そのような段階  
に来ていますので、皆様方に忌憚のない御意見をいただいて、よりよい  
学校づくりをしていきたいと思えます。本日もよろしくお願ひいたしま  
す。

## 次第2 笠原小中学校校歌・校章について

- 会長 ・ 次第2「笠原小中学校校歌・校章」について事務局に説明を求めま  
す。  
(事務局より説明)
- 会長 ・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。  
(特に質問等なし)

## 次第3 現在の検討状況について

- 会長 ・ 次第3「現在の検討状況」について事務局に説明を求めます。  
(各ワーキンググループ検討状況について報告・説明)
- 会長 ・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
- 委員 ・ 時間割についてですが、これは資料の通り、令和6年度から始めてい  
くということでしょうか。
- 事務局 ・ はい、そのとおりです。
- 委員 ・ お試し登校についてですが、これは小学生が仮設校舎のある中学校へ  
の登校のお試しということですね。
- 事務局 ・ そのとおりです。
- 笠中校長 ・ お試し登校は3月15日を予定しています。時間割についても、もう来  
週から中学校は試しで始めていきます。次年度に向けて、うまく回るか  
どうかの確認をしようと思います。
- 委員 ・ 時間割を保護者の方等に公開はしていますか。
- 笠中校長 ・ まだお示しはしていません。
- 笠小校長 ・ 小学校は本日の段階で文書作成をして、職員間で確認をしました。中  
学校と合わせて、このように変わりますというのを発出しようと考えて  
います。
- 委員 ・ 3年生から6時間目まで授業があると思いますが、15時50分だと梅平  
団地だと1時間程度下校にかかるのではないかと思います。高学年みたい  
には帰れないのではないかと思います。

委員	・街灯も少ないですし、横断歩道もないところも多いですし、心配に感じています。
委員	・登校の際に、シニアボランティアが通学路に立とうという話が出てまして、試し登校のときに、危険箇所を確認して挙げていただければ、重点的に立っていただければと思います。下校に関しても提案できるというのですが。ただ、笠原の地域の方々が今度笠原小中学校に変わるというのをご存じで、手助けしようという声が出ています。試し登校で危険箇所を確認し、情報共有していただければと思います。
委員	・他の委員の方がおっしゃたように、地域としてもいろいろ応援してこうと、シニアの方が要所に立ってくださることなので、子どもたちの安全な登校を見守ってくださいます。下校についても、現在だと、上原はシニアの方が立っています、そのような形で子供の見守りについては、様々なところで今もやっていただければいいところがあります。笠原の子は笠原の皆で守り育てようというスタンスでありますので、ぜひ保護者の方も協力していただいて、子どもたちが安全に学べるような環境を作っていけたらいいと思います。
委員	・少し話は変わるのですが、今小学校は車の送迎で登校する子どもたちはどの程度いますか。
笠小校長	・特別支援学級の子どもたちなど、分団で行くと危険がある方やその時々によりますけど、病気とか体調が悪いときに送ってらっしゃる方もいます。
委員	・朝の時間帯は混雑しますよね。仮設校舎や笠原中への送り迎えの際には、校門には上方向から入って、出るときは下方向へというようにしないと、非常に危険だと思います。送迎のルール作りをし、保護者へ周知した方がよいのではないかと思います。
笠小校長	・その点に関しまして検討がされていまして、お試し登校の時からも、もし車の場合は、右折で入らないで、上がってから、左折で入っていただく、出るときも右折ではなくて左折するというように案内文書を作成しています。
委員	・現中学校では車で来た場合のルールはないのですか。
笠中校長	・ありません。今朝は確認したところ6台で、大抵それ位の台数なのでお任せしています。

次第4	(仮称) 笠原こども園の整備について
会長	・次第4「(仮称) 笠原こども園の整備」について多治見市役所福祉部子ども支援課に説明を求めます。 (子ども支援課より説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・仮設園舎はいつから使用するのですか。

子ども支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年7月に3歳以上児の保育を仮設園舎で行う計画になっております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事に関していうと、騒音のことや、増築園舎をつくる際に遊具を撤去するとのことですが、遊び盛りの子たちが、1年間、2年間過ごしていかなきゃいけないのは子どもたちにとってそれはストレスになるのではないかと感じます。</li> </ul>
子ども支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見は園を通じて、私どもに届いております。確かに、幾つかある遊具はちょうど増築園舎の部分にあたり、撤去せざるを得ません。ただし、代わりとなるものは可能な限りご用意したいと思っておりますが基礎が固められたような遊具を設置することが今はできません。今ここでのようなものが、どれぐらいのボリュームで用意できるかというのはご説明ができません。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり外で思い切り遊べないというのは、トラブルの原因にもなるし、それを先生たちは試行錯誤していろいろ考えてくださると思いますが、子どもたちがかわいそうかなと私は思います。また運動会をどのようにするかについて、体育館を先生は抑えたと仰っていましたが、外ではないため、リレーが出来ないかもしれないですね。年長の大事な時期をそのような形で過ごすのはすこし寂しいと感じますし、これで卒園してしまうのかというように思うこと、仮の園庭が出来たとしてもその園庭がどの程度の大きさなのかが分からないということも、園長先生が仰っていたので、複雑な気持ちを感じます。先生方も保護者の方に懇談の際に、全ての保護者の方に説明されています。こども園の改修工事に関して、理解してもらえるように、駐車場のことや安心安全なことも、確定していないから言えない部分はあると思うのですが、小さい子どももいるので、そのようなことも考えていただけたらなと思います。</li> </ul>
子ども支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の広さに関しては、お子さんが生活するエリアの安全を1番重要視しなくてはいけないので、仮設園舎を建てることで安全を確保します。その影響で園庭が狭くなることはやむを得ないと考えています。その園庭で今の規模の運動会ができるかというとても不可能です。そのため、大変御迷惑をおかけするのですが、隣の体育館で工夫をしてやるか、もしくは別のところで運動会をやるという選択肢も考えています。本当に御迷惑をかけることは重々承知なのですが限られた土地しかないため、大変御迷惑をかけますが、これからも丁寧に御説明させていただければと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸工房の廃止について説明をお願いします。</li> </ul>
子ども支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸工房を今回取り壊すという計画にしております。取り壊す1番の理由は、完成後の園の運営上支障になるということになります。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しよろしいですか。取り壊すことについては、反対していませんがその後の陶芸工房はどこかに移築するかどうかをお聞きしたいです。</li> </ul>

文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、子ども支援課が説明しましたように、安全確保ということで、陶芸工房の廃止ということを決めさせていただいたところがございます。陶芸工房の廃止も踏まえ、今までの陶芸工房の機能をどうするかというところで説明会も行いまして、要望としては機能をどこかで持たせるような仕組みを考えていただきたいという意見をいただいております。その中で私どもが、方針として考えているのは同様に陶芸が体験できる施設の活用などについて、今ご議論をいただいております。笠原小中一貫校に陶芸教室の設置を予定しておりますので、このような施設の活用をし、地域の方もご利用いただけるような環境を検討していきたいと考えております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこかに移築することは考えていないのですね。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、移築は想定をしておりますので、既存の施設の中で検討していきたいと考えております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の施設はどのようなところですか。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、ご説明したような形で、小中一貫校や他の公民館でといった施設で陶芸工房の機能を持っているところで活用を考えております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間利用したい人はどのようにすればよいですか。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放ですと学校の授業時間につきましては、利用ができません。17時以降は学校開放で使うことができます。また日中の利用ということですが、他の公民館施設や学習館の利活用をご案内させていただきたいと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窯を使いたい人はどのようにすればよいのでしょうか。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、陶芸工房につきましてはガス窯が併設されているところがございますが、この窯につきましては、他の施設で釜等の有無がございます。例えばこの学校開放に関しては、電気釜等の設置があるということですので、そういった部分の活用も検討の一つであると考えてございますし、窯等の調整という部分につきましては、様々な選択があらうかと思っておりますので、引き続き、検討を進めさせていただきたいと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本焼きすると1,200度ほど上げます。学校では素焼きが多いです。それを標準にして考えると、本焼きで1,200度まで上げてしまったら窯が早く悪くなると思います。子どもの活動に支障がでるのではないのでしょうか。それともう一つ、釉薬の置き場はどうなのでしょう。本焼きの時は釉薬を必ず塗るのですが、学校内に釉薬の大きなものを置くのでしょうか。</li> </ul>
文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作陶にからむ窯の問題、あるいはその釉薬的な問題は、引き続きその活用、利用の仕方についてももう少し検討させていただく余地はあるかと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと検討していただかなければいけないかと思っております。皆が美濃焼を様々な形で、作陶することや発表するといった機会をなくしてしまっ</li> </ul>

	<p>たら大変なことだと思います。今の説明だとむしろ、皆がだんだんやらなくなってしまうませんか。文化を振興する立場であるあなた方が、もっと住民の立場に立って、美濃焼の産地である多治見としてふさわしいのかよく考えていただきたいです。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、PTA組織は幼保別々にあります。こども園になることによって恐らく一つになると思うのですが、それに関して、PTA側でどのような動きをしていかなければならないのか、どの程度の骨格がそちらから示されるのかをお伺いしたいです。</li> </ul>
<p>子ども支援課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAとか父母の会と言われる会につきましては基本的に皆様の任意の団体でございますので、我々が口を出すところではないのですが、混乱を招くということもありますので、来年度に入りましたら、また新しいそれぞれの会長さん等々と協議をして、どのように統合をしていくか、預金等もあり、そういったものの取扱いや、県P等の上部組織を脱退するのかわからないのかということも含めて、今後一緒に検討させていただこうと思います。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増築園舎を作るときの園児の出入り口はどこになりますか。</li> </ul>
<p>子ども支援課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成形は資料で示したとおりですが、業者が決まっておらず、工事をどのように進めていくかによって、園児等の動線が決まってくるので今後、詳細を詰めていくところです。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ決まったことは保護者の方に説明していただきたいです。</li> </ul>
<p>子ども支援課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちろん工事業者が決まったら、工事スケジュールなどの説明会を開催させていただく予定です。</li> </ul>

次第5 その他について

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第5「その他」について事務局に説明を求めます</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(事務局説明)</li> <li>・次回開催：6月頃(委員交代後、事務局より連絡)</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で何か質問はございますか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度から、小中学校が開校し、その後中学校の校舎がどうなるかを地域の方々は心配されています。なぜかというと、上原と向島はこの中学校が避難場所になっています。中学校が取り壊されるようなことになると避難場所がなくなります。それは大変困るので、今いつ大きな地震が起きるか分かりませんが、また次第に分かってくるかなと思いますが、その辺り考慮していただけるとありがたいなというふうに思います。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笠原小中ニュースで、地域住民の方々、特に親御さんが不安に思ったりすることを知らせてくださることによって少なくなってくると思いますので、ぜひとも第2号以降もよろしく願いいたします。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時期に、多治見市の3月の広報、それから笠原小中ニュース等で一</li> </ul>

委員	<p>度に集中して、PRや周知ができたことは非常に効果があると思っておりますので、また今後も出せるときは出していただければよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠原小中ニュースもですが、こども園ニュースも欲しいと感じます。</li> </ul>
副教育長挨拶	
<p>会長 副教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。</li> <li>・本日も様々なご意見ありがとうございました。計画がソフト面ハード面具体的になってくると、このような意見交換も活発になり、深まりがあって、大事な時間だったと思っています。これまで申し申し上げてきましたけれども、この研究会ではとにかく令和8年4月にこども園と笠原小中学校をベストな形でスタートさせるために、様々な意見を出し合う会だと思っています。本日いただいたご意見も、教育委員会や市の関係課も持ち帰り、できるは限りのことを検討して、形にしていかなければというように思っておりますので引き続きよろしく願います。また笠原の方はとても注目してくださり、期待もしてくださるのですが、一方で他地域では何で笠原ばかりといった声を聞くこともあります。そのぐらい市民の皆様、特にお子様をお持ちのご家庭の方々は笠原のこども園と小中学校に大変注目していらっしゃるの、大事に進めていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。</li> </ul>
閉会	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で、第20回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。</li> </ul>

—以上—